

世界旅打ち気分

●第29回・ワインザーとバース

須田鷹雄



バーススパの新旧スタンド



ワインザーのメンバーエンクロージャーからはこの角度の写真も撮れる



ワインザー競馬場からの帰りも船の利用がおすすめ

写真的カラー版は
<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>
#グリーンファーム会報#2020年11月号
でご覧いただけます

<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>

この連載を振り返ってみたり、イギリスの競馬場を扱った回数が意外に少ない」とに氣付いた。そこで今回は、イギリスから2場を紹介しよう。

ひとつめは、ロイヤルワインザー競馬場。創設は1866年だとうから、明治維新とほぼ同じ時期といふことになる。

ロンドンから西へ向かうとヒースロー空港があるが、さらにそれを超えて西へ行ったところにあるのがロイヤルワインザー競馬場。ロンドンからの距離感でいうと、東京都心から見た府中というか、もう少し余分に見るとしても立川競輪場くらいの感じだね。

ワインザーという名前から分かる通り、この競馬場はワインザー城という名前に「ビン」となくとも、ロイヤルアスコットのときにエリザベス女王が出発するところなど見えば分かるはずだ。

お城のほうも競馬と縁があるうえ周辺の公園なども見どころなので、まずは早めにロンドン市内を出て、ワインザー城とその周辺を観光していただきたい。その中に開催の時間帯(昼開催と薄暮開

口空港があるが、さらにそれを超えて西へ行ったところにあるのがロイヤルワインザー競馬場。ロンドンからの距離感でいうと、東京都心から見た府中というか、もう少し余分に見るとしても立川競輪場くらいの感じだね。

ワインザーといふ名前から分かる通り、この競馬場はワインザー城という名前に「ビン」となくとも、ロイヤルアスコットのときにエリザベス女王が出発するところなど見えば分かるはずだ。

場所を取ることができない。

スタンドも歴史を感じさせる。

特にグラウンドスタンドエンクロージャーのいちばん端、メンバーエンクロージャーに近い側にある小さい建物は、雰囲気がある。メンバーバーは我々では入れないが、トイレやATMなどの施設は使える。このトイレはシブい雰囲気でなかなかよい。「世界のベスト競馬場トイレ」を選ぶ機会があつたらノミネートしてもよいと思っている。

今回紹介する2つめの競馬場はバーススパ競馬場。バースとロンドン・ペティントン駅から1時間20分ほどでバース駅に着く。そこから送迎バスで競馬場まで行くのが普通だ。

送迎バスで行くと最終レースまで競馬場に居なくてはならないのが難だが、バースという土地はjib eが地元のタクシー会社と提携しているようで、英語で電話しなくても配車依頼することができる。

私が訪問した2017年からサークルバスが後退していることはないと思っていたので、おそらく今でも同じは

ずだ。

私は不調法な人間なので、まつ

すぐ競馬場に行つてまっすぐ帰つてしまつたが、実はこのバースという土地、イギリスで唯一の天然温泉がある土地なのだそうだ。馬たちが歩く、表彰式をやる場所などを見ようと思ったらクラブ2つのエングロージャーがあるが、一番お値段の高いクラブエンクロージャーをおすすめする。パレードリング(パドック)やプレパレードリング(パレードドリンク)に向かう前の馬たちが歩く、表彰式をやる場所などを見ようと思ったらクラブ2つのエングロージャーでないと見られないらしい。

もあり、ロンドン目線だと1泊2日で行く観光地といった感じ。駅から競馬場へ行き来する道沿いも雰囲気があり、直行直帰の旅打ちスタイルはいまとなつては悔やまれる。皆さんのが行く機会があつたら、ぜひ1泊して1日は観光と温泉、もう1日を競馬としてうように組んでいただきたい。

肝心の競馬場はとくに、施設的にはこじんまりした競馬場である。ゴール前には新しく作られたスタンドと昔からのスタンドがくつつく形で並んでいるが、新スタンドのほうは小さめのアパート棟という感じの4階建て。2階以上は個室になつていて、年間で借り切るか企業協賛などでないと入れないのかもし

れないが、1階にあるバーは誰でも利用できる。

競馬場の規模と比べると、場内の飲食物も充実している。私が行った日には2階建てのロンドンバスをそのままケータリングワゴンのように利用したバーも出していた。その他にもいくつかのワゴンが出ているほか、常設のハンバーガー屋さんなどもある。イギリスの食べ物レベルに照らした場合、評価できる充実ぶりだ。

私が訪問した日はたまたま天気に恵まれたので、スタンド近辺もパレードドリンクもコース側もすべて爽やかで印象が良かつたのだが、雨など降られるごとの競馬場の良さが半減してしまう。訪問時には天気予報を睨みつつ、天気の良い時間帯を逃さないようにし